

2024年2月25日

各位

第37回川越いもの子作業所チャリティーコンサート実行委員会  
実行委員長 細野 ひろみ

「はなわ&さくまひできチャリティーコンサート」のお知らせ

日頃より、「川越いもの子作業所」に、あたたかなご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

「川越市に一人ぼっちの障害者を出さない」という理念のもと作業所づくりを進め、現在は、9か所の働く場に240名余りの障害のある人が働いています。また、グループホームや入所支援施設などの生活施設では90名の障害のある人が暮らしています。支援センターでは、相談支援、ヘルパー支援を行い障害者の地域生活を支えています。

私たちは、障害の重い仲間が地域の中で暮らせる施設づくりのため「第37回川越いもの子作業所チャリティーコンサート」を下記の通り企画いたしました。障害者も生活できる街、ともに生き合いささえ合う街、そんな願いを込めた催しにしたいと思っています。

以下の通り、「はなわ&さくまひできチャリティーコンサート」の告知をさせていただきます。

記

1. 日 時 2024年6月1日(土) 開場 午後5時 開演 午後6時
2. 会 場 ウエスタ川越大ホール
3. 主 催 第37回川越いもの子作業所チャリティーコンサート実行委員会
4. 出演者 はなわ&さくまひでき
5. 後援予定 川越市 川越市教育委員会 川越市社会福祉協議会  
川越市民生委員児童委員協議会連合会 川越商工会議所
6. チケット 1階指定席 4,000円 2階指定席 3,500円  
3階自由席一般 3,000円 3階自由席 障害者小人 2,500円  
※当日は500円増し。障害者小人券は当日無し
7. 販売日 2024年3月2日(チケットぴあ)
8. 販売場所 チケットぴあ(Pコード:265145) ウエスタ川越(3月4日予定)  
福祉の店 川越いもの子作業所各施設
9. 問合せ先 第37回川越いもの子作業所チャリティーコンサート実行委員会  
〒350-1105 川越市今成3-13-3  
電話 049(223)0008 または 049(233)2940

障害者の豊かな働く場・暮らしの場をめざして

# はなわ&さくまひでき

チャリティーコンサート



1976年7月20日埼玉県春日部市生まれ。佐賀県出身。お笑い芸人として1995年に活動を始める。2003年には、ベースを弾きながら自身の出身地・佐賀県の「あるある」を歌った楽曲「佐賀県」がヒットし、同年の「NHK紅白歌合戦」に出場。2017年に実話を元にした楽曲「お義父さん」をリリースし、日本レコード大賞企画賞を受賞。「翔んで埼玉」「翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～」の主題歌「埼玉県の歌」と「咲きほこれ埼玉」を歌っている。テレビやラジオ、ライブ、YouTubeなどで活躍している。



FM NACK5「さくまひできのサンデー音楽工房」(日曜あさ9:40～)好評放送中。映画「翔んで埼玉」の挿入歌にもなった、埼玉県ご当地ソング「人生たまたまさいたまで」が大ヒット。思わず感動の涙を流してしまうバラードから、心が楽しくなる曲までを、甘い歌声でお届けするステージ。アットホームなトークもお楽しみください。

6月1日(土) 場所/ ウェスタ川越大ホール

開場 17:00

開演 18:00

《チケット》 指定席 1階席 4,000円(当日4,500円)

2階席 3,500円(当日4,000円)

自由席 3階席 3,000円(当日3,500円)

障害者・小人 2,500円(当日なし)

【お問い合わせ】 ☎ 049(223)0008 ※お問い合わせ時間 平日10:00～15:00 <http://www.imonoko-1.jp>

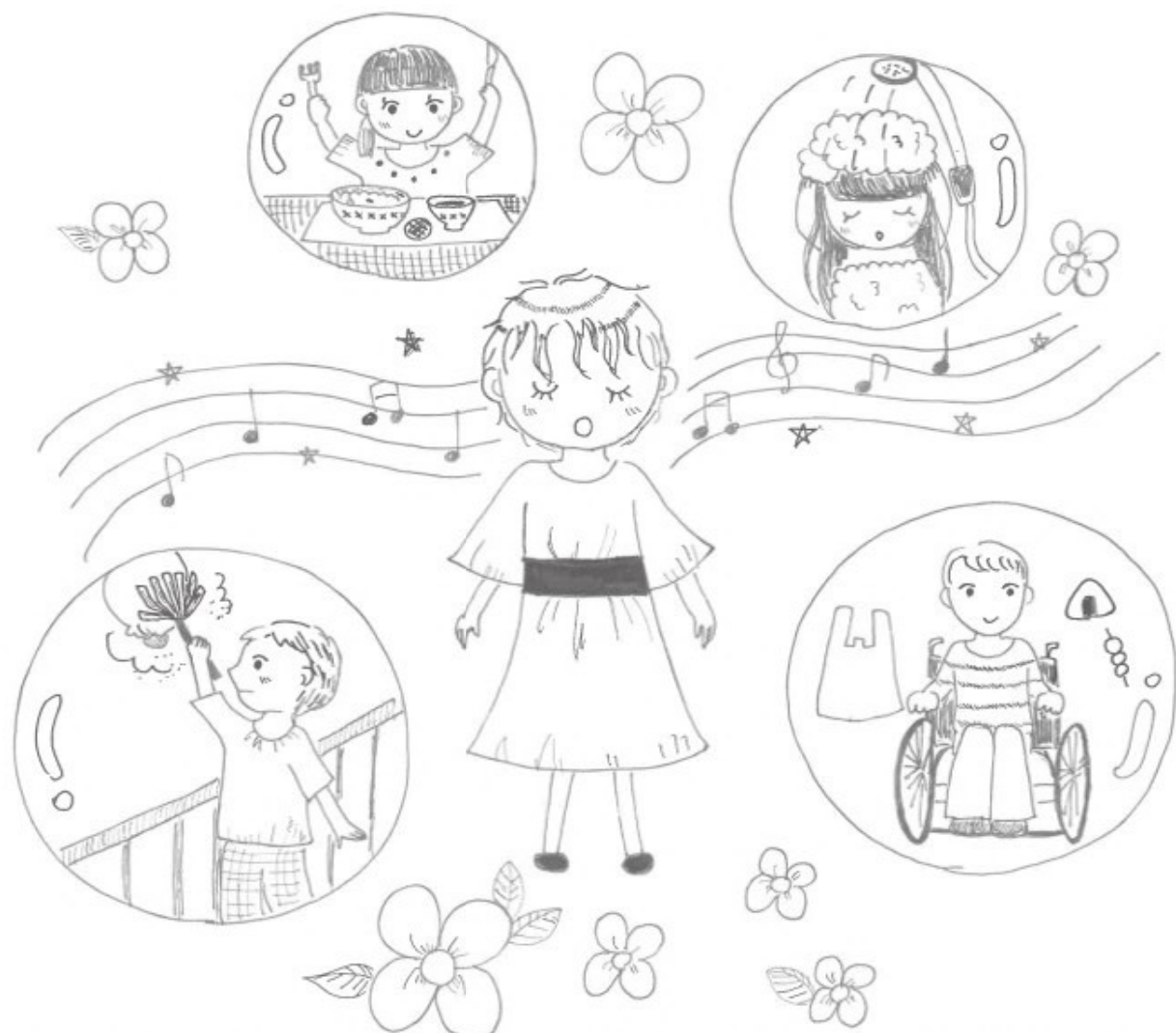
チケット  
取り扱い

- チケットぴあ <https://t.pia.jp> Pコード265145 ※セブン・イレブン、ファミリーマート各店舗でお買い求めいただけます。(ファミリーマートは直接購入できません。チケットぴあでご予約の上お買い求めください。)
- ウェスタ川越 ●第2川越いもの子作業所 ※指定席券は前記●のみでお取り扱い致します。
- 福祉の店(U\_PLACE 3階) ○川越いもの子作業所 ○第3川越いもの子作業所
- 第4川越いもの子作業所 ○障害者地域生活支援センターほがらか
- カフェ&ベーカリーどんときも(ウェスタ川越1階)



主 催 第37回 川越いもの子作業所チャリティーコンサート実行委員会  
後 援 川越市・FM NACK5・川越市教育委員会・川越市社会福祉協議会  
川越市民生委員児童委員協議会連合会・川越商工会議所

# 暮らし元年！ 障害は重くても地域の中に つくろうみんなの暮らしの場



いもの子の仲間たちは、障害は重くても自分の力を発揮し、地域の中で働き、地域社会に役立つことを目指してきました。せんべい・パン・クッキー・うどん・干しいもなどの食品や、リサイクルを進め、ミルクパックの紙漉きに発展させ、そして今「川越いもみくじ」を作るようになりました。

働く場に見合った、障害の重い人が暮らせる入所支援施設が足りません。いもの子は今年を「暮らし元年」と名付けて、2つ目の入所支援施設を目指しています。